



はじめ君、得意の「バイバイ、ア〜」の顔です。どこで覚えたのか、毎回笑わせてくれます。日ごとに言葉を覚えてホントに楽しいです。誉めて育てています。



「Sさん、Sさんの中のちっちゃいおっちゃんが聞いてるよ？ダメと、うまく歌えないって言う言葉を記憶してしまおうよ！」

先月号のとらきち君で「ちっちゃいおっちゃん」=潜在意識の話を書きました。ビックリすることが起きました。

ボクの大好きなお客様のSさん。歌をこよなく愛し、元旦を除く毎日カラオケで練習しています。



彼女の1日は、朝5時に起床、5時50分のバスに乗ってお昼までお仕事。その後シダックスの指定の部屋で2時間、歌のお稽古をします。彼女の目標は、毎年出場している大衆音楽の大会です。神奈川大会では、毎年入選し、全国大会へ行っていました。入選枠3人に対して、去年は4位。とても悔しい思いをしました。

夢は全国大会優勝！この思いがあれば大丈夫！と、この一年練習に練習を重ねてきました。選んだ曲は、秋元順子さんの「一枚の写真」です。

本番では、曲の1番のみの約2分。一つの失敗も許されません。各地区で選ばれた250名。Sさんは65歳以上のグループ、約90名の中でトップスリーを目指します。この一年間で「一枚の写真」を3,000回以上歌い込みました。

大会まであと2週間と迫ったある日、「今年もダメかも知れない…、肝心のフレーズがうまく歌えない…」と弱気な言葉を漏らすではありませんか!? ボクはSさんに、「ちっちゃいおっちゃん」の話をしました。

「ちっちゃいおっちゃん」は素直だから、その通りにしちゃうよ。だから、こういう風に考えましょう。『私は神奈川大会で入賞する、入賞している、入賞した。』毎日一日5分声を出して

言ってみようね！それから、Sさんの手作りの青いドレスを着て、ステージで完璧に歌い上げている自分を毎日イメージしてみましょうよ」Sさんは、ボクの前でやってみました。「なんか、自信が出てきたわ！」と、いつて微笑みました。



大会まで3日に迫った5月10日に、再びカウンセリングにいらっしやいました。「Sさん、毎日ちっちゃいおっちゃんに囁いてますか?」「もちろん、もう私は入賞した気になってるわ！」

そして、大衆音楽神奈川大会の翌日、Sさんは、満面の笑みで店に入ってきました。「1位入賞しましたよお〜」審査員の先生からは、「普通は秋元順子さんの物まねになるのに、Sさんは完全に自分の歌として歌い上げているね！おめでとう！」と言われ、思わずステージ上で泣いてしまったそうです。「私の中のちっちゃいおっちゃんが頑張ってくれたわ！店長ありがとう」「次は全国大会優勝ですね！ちっちゃいおっちゃんを鍛えてね」お祝いに、Sさんが歌っているCD10枚を作ってプレゼントしました。(*^_^*) 本当に人は思った通りになるんです。